

平成26年度 指定管理者年度総合評価表
(平成26年4月～平成27年3月実施分)

作成日	平成27年5月28日
-----	------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市なんごうグリーントウン集会施設		
所在地	八戸市南郷大字市野沢字山陣屋 36 番地 49		
施設概要	設置目的：地域住民の生活向上を図るため、地域活動及び憩いの場として設置 建物構造：木造平屋建 延床面積 249.92 m ² 大広間、和室等		
指定管理者	名称	グリーントウン自治会	
	代表者	会長 冷水 春男	
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字山陣屋 22-120	
指定期間	平成26年 4月 1日 ～ 平成31年 3月31日		
指定管理者の業務	(1)施設使用の許可に関する業務 (2)施設、設備等の維持管理に関する業務 (3)その他、市長が必要と認める業務		
市所管課 (問合せ先)	福祉部 福祉政策課 指導監査グループ		
	電話	0178-43-9294 (直通)	
	E-mail	fukushiseisaku@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	<ul style="list-style-type: none">これまでどおり清掃、除雪等の維持管理を徹底し、地域住民の協力を得て施設と周辺環境の美化に努めた。休館日は設けず、開館時間を延長し、地域住民の交流、親睦の場となるよう施設の運営に努めた。
今後の目標	<ul style="list-style-type: none">地域住民のコミュニティ施設として、地域住民の誰もが気軽に利用できるよう、開かれた施設運営を目指す。条例等の法令をはじめ「管理の基準」を今後も遵守し、適正な施設管理を行う。クラブ活動等の地域活動の担い手を増やし、利用者増につなげていく。緊急時の避難経路確認や避難誘導のため、避難訓練を実施する。

■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none">施設の設置目的を踏まえ、開館時間を延長する等の住民サービスを図り、地域住民が平等に施設を利用できるよう適切に管理運営を行っていた。安全で快適な施設環境を確保するために施設、設備の維持管理及び修繕が行われ、前年度と同様の利用状況を維持していた。
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	開館時間を延長し、休館日は設けず柔軟な運営を行い、住民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	管理運営に必要な人員が配置されていた。
従事者の労働環境確保	—	地域住民による管理のため対象外。
従事者の教育・研修	—	地域住民による管理のため対象外。
緊急事態への対応	◎	消防訓練を実施するなど、事故、災害等への緊急事態への対応（準備）が非常によくできていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	年度事業計画書、年度収支計画書、年度事業報告書等が提出期限内に適切に提出されていた。
口座管理、経理の区分	—	指定管理料がないため対象外。
通帳、印鑑の管理	—	指定管理料がないため対象外。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	届出の必要な事例なし。
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	○	代表者の変更があった際に、届出が適切に行われていた。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が適切に行われていた。 (使用制限、入場拒否等の事例はなし。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	○	利用者実績は前年度同様で町内の交流の場として利用されていた。 平成 24 年度実績 893 人 平成 25 年度実績 1,171 人 平成 26 年度実績 1,175 人
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	消防訓練を実施し、集会施設の火災防止に努めていた。

3 収支状況		
指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	—	施設の維持管理に要する経費は、地元自治会で徴する維持管理協力金や自治会費等で賄われていた。

4 運営に係る体制整備状況等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者からの要望等に対して、迅速に対応できるような体制が構築されていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	自治会広報により周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	自治会役員で運営にあたることにより、苦情・要望等を受け付ける窓口が広く確保されていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	節電や節水を積極的に呼びかけ、環境への配慮を適切に行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設、備品、機械等について随時点検を実施し、消耗品等の交換を行った。 防火管理、冬季の水道凍結防止を徹底した。

2 定期モニタリング

定期報告状況	実施状況
	四半期ごとの光熱水使用量の報告や年間事業報告書等が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	2回	5月29日	GL、担当	管理運営状況実地調査
		12月17日	担当	施設の管理運営状況確認
実施結果				
設備及び備品の管理が適正に行われていることを確認した。				

※GL：グループリーダー